

寒天由来アガロオリゴ糖の皮膚炎抑制作用

【目的】我々はこれまでに寒天由来アガロオリゴ糖に抗関節炎作用、発がん予防作用、解毒作用などの生理活性を見い出してきた。今回、アトピー性皮膚炎モデル動物を用いて、アガロオリゴ糖の経口摂取による皮膚炎抑制作用について検討した。

【方法】NC/Nga マウス（雄性，6週齢）にピクリルクロライドを連続塗布することにより皮膚炎を発症させた。アガロオリゴ糖は3%の濃度で水道水に溶解し飲水中から自由に摂取させ、定期的に皮膚炎症状の評価や背部皮膚からの水分蒸散量の測定などを行った。

【結果】アガロオリゴ糖の摂取により皮膚炎症状の悪化が明らかに抑制された。また、コントロール群では症状の進行に伴って背部皮膚からの水分蒸散量が明らかに増大したが、アガロオリゴ糖を摂取させたマウスでは有意な抑制効果を示した。

【結論】アガロオリゴ糖の経口摂取により明らかな皮膚炎の抑制が認められた。